

施設整備に関する鉱業博物館の



国際資源学研究科附属鉱業博物館は、1961年に卒業生や鉱山関連企業様等のご寄附によって建設され、今日まで、秋田大学の伝統ある鉱山学の教育・研究活動を通して収集された貴重な資料・標本を未来に引き継いでいくとともに、地域社会との架け橋にもなってきました。しかしながら、60有余年の歳月が経過し、建物の老朽化対策と設備更新が喫緊の課題となっています。今後も博物館の機能を維持し安全に利用するために、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

鉱業博物館整備事業寄附金

目標金額: 1,000 万円











鉱業博物館のあゆみ

1910

秋田鉱山専門学校開校

開学時に,公開施設として **列品室**が設置されました。



1951

新制大学の秋田大学開学

鉱山博物館に改称され、翌年に は博物館相当施設(博物館法上 の博物館)となりました。



1994

鉱業博物館開館30周年 リフレッシュ事業

エレベータに加え,スロープ,多目的トイレ等が設置されバリアフリー化が進められました。



開学50周年記念事業

卒業生・企業・個人から集められた寄附金によって、ユニークな円筒形吹き抜け構造の3階建て展示棟および4階建ての研究棟が建設され、鉱業博物館が開館しました。















施設整備へのご理解とご協力のお願い

鉱業博物館は、秋田鉱山専門学校創立50周年を記念し、卒業生、関係各位のご寄 附によって、1961年に建設されました。以来、長年にわたる標本の収集、研究によっ て、鉱山分野では国内有数の規模と内容を誇る博物館に発展して参りました。2011 年には、創立100周年事業における皆様のご寄附によって、鉱業博物館の展示をリ ニューアルすることができました。

しかしながら,60年以上が経過し,施設の老朽化が進んでおり,補修や設備の更新 が重い課題になっています。しかしながら、国立大学の予算削減政策が進み、大学の 自己財源だけでは補修が難しい状況にあります。

つきましては、皆様にご寄附をお願いし、施設整備を行いたいと考えております。ど うか、これらの事情をお汲みいただき、鉱業博物館の存続のために、ご寄附をして頂 きたくお願い申し上げます。

> 国際資源学研究科長 柴山 敦 附属鉱業博物館長 大場 司 元附属鉱業博物館長 石山大三 元附属鉱業博物館長 今井忠男

目標金額 1,000万円

夢金目的

鉱業博物館のエレベータの補修,展示棟のボイラー施設, 照明のLED化,敷地内の環境整備

寄附の方法 秋田大学みらい創造基金にて受け付けております

1996 組織改組

博物館専任教員が 配置され、大学博 物館にふさわしい 運営体制となりま した。

2011

100周年記念事業

多くの方々の寄附金によって展示の 大幅リニューアルが行われました。



これから

施設整備

博物館の機能維持と安全な利用のため, エレベータや展示棟のボイラー、照明 などの整備を進めてまいります。



寄附のお申込み・払込方法

振込による寄附

ホームページ,書面,お電話,FAXにてお申込みください。折り返し、基金事務室より必要書類を郵送にてお送りいたします。専用振込用紙が届きましたら、銀行または郵便局でお振込みをお願いいたします。

■ホームページで

寄附申込フォームに 必要事項をご入力ください。



●書面で

寄附申込書(個人用/法人用) に必要事項をご記入いただき, 郵送かFAXでお送りください。



●お電話で

TFI: 018-889-3266

■ FAXで

FAX: 018-889-3242

クレジットカードによる寄附

インターネット上で各種クレジットカード決済によるご寄附が可能です。 秋田大学みらい創造基金ホームページから申込み手続きをお願いいたします。



寄附目的は「鉱業博物館整備事業寄附金」を選択してください。

寄附に関する税制上の優遇措置について

秋田大学みらい創造基金へのご寄附については、所得税法の寄附金控除の対象となる特定 寄附金又は法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄附金として財務大臣から指定され ています。

詳細はみらい創造基金ホームページをご覧ください。

お申込み・お問い合わせ

秋田大学みらい創造基金事務室(広報課内)

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号

TEL 018-889-3266 FAX 018-889-3242 E-mail:kikin@jimu.akita-u.ac.jp 公式サイト https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html



公式サイトはこちら